

1液性エアーモルタル

AM 375 & AM 250

株式会社 ヤマワ

1.はじめに 現在エアーモルタルは、起泡材を含め2~3種類の原料を工事現場でミキサーを使用し練り上げるタイプの材料が使われています。

その手順は、まず最初に起泡材を十分時間をかけ既定の空気量を確保するべく発泡させ、その後各材料を投入・混練することでエアーモルタルが出来上がります。

この種類のエアーモルタルは、作液するために長い時間を要したり、また練り方が不十分であると良質のエアーモルタルができず、強度も確保できません。

これ等の欠点を改良し誰でもが簡単に作ることができる1液タイプの良質なエアーモルタルがAM375 & AM250 です。

2.比較 従来品と1液性エアーモルタルとの比較を下記の表で示します。

比較項目	従来品	1液性エアーモルタル	1液性エアーモルタルの長所
材料の種類	2~3種類の材料を順次練る	1種類の材料で済む	誰でも簡単に作液出来る
重量	300kg/m ³ 以上	375kg/m ³ と、 250kg/m ³ の2タイプ	少ない重量で作液可能 材料ストックヤードを小さくできる
発泡性	十分な時間をかけ起泡材を練る必要がある	短時間で細かい気泡が得られる	
作業性	2~3種類の材料のため混練に時間を要す	従来品に比べ1/2~1/3の時間で混練可能	短時間に誰でもが簡単に作液でき、高い作業性を有す
ブリージング	練り方が不十分であればブリージングが起きる	ブリージングはほとんど見られない	
フロー値	180±20 mm	300±40 mm	高い流動性と品質が得られ
品質	材料の種類&品質、練り方によりばらつきが出やすい	品質のばらつきがない	隅々まで充填可能 均一で良好な品質モルタルが得られる

3.配合例

1m³ 配合例

	配合量 (kg)	水	生比重 (g/cc)	空気量 (%)	28日圧縮強度 (N/mm ²)
		(L)			
AM250	250	350	0.6±0.1	56	0.3~0.5
AM375	375	300	0.65±0.1	57	1 以上

水中温度20°C養生

上記の値は実験値であり保障値ではありません。

試験成績表

平成30年3月30日
株式会社 ヤマワ

1. 製品名
エアーモルタル AM250
エアーモルタル AM375

2. 試験項目
化学成分
その他 (以下参照)

	AM250	AM375
SiO ₂	33.4	29.4
Al ₂ O ₃	9.9	9.2
Fe ₂ O ₃	2.2	2
TiO ₂	0.16	0.1
CaO	44.6	50.1
MgO	3.3	3.2
K ₂ O	0.4	0.4
Na ₂ O	0.56	0.4
IgLoss	2.3	1.7
100メッシュ以下	90%以上	90%以上
嵩比重	1.1	1.2
真比重	2.6	2.8
重金属溶出	検出されず (環境庁告示第13号による)	
安全性	劇毒物は含まれません	
荷姿	25/袋	25kg/袋

単位: 化学成分は%表示

比重はg/cc

株式会社 ヤマワ

岐阜県土岐市土岐津町土岐口1372-1

TEL 0572-55-2191

FAX 0572-54-5100

